

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年3月3日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・住宅建設は持ち直しの動きもみられるが、公共投資などで弱い動きが続いている。大型小売店販売額は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は前年を上回った。(12月) 新設住宅着工戸数は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(1月)

産業面・・・持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を上回り、原指数も前年を上回った。(12月)

雇用面・・・求人倍率は厳しい状況が続いている。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。(12月)

求人倍率は、新規は前月を下回ったが、有効は前月を上回った。(1月)

需要面の動き

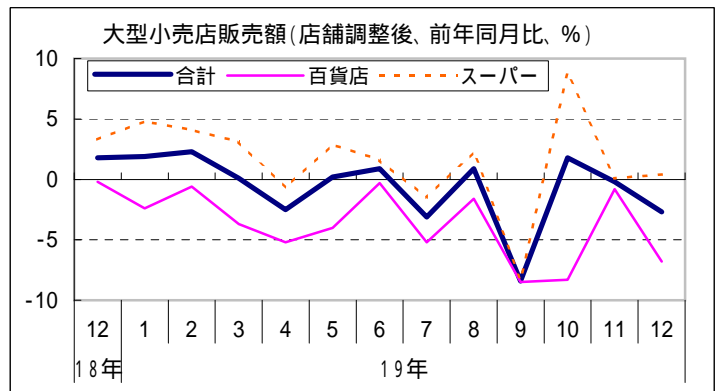
大型小売店販売額(12月)

全店舗の販売額は、68億2,368万円(前年同月比2.7%減)と2か月続いて前年を下回り、店舗調整後でも2か月続いて前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	682,368	2.7 (2.7)
百貨店	286,610	6.8 (6.8)
スーパー	395,758	0.4 (0.4)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(12月)

46億7,900万円(前年同月比0.2%増)と3か月続いて前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(1月)

1,330台(前年同月比5.1%減)と4か月続いて前年を下回った。減少の内訳では、小型車の減少(前年同月比11.3%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(1月)

213戸(前年同月比8.7%増)と2か月続いて前年を上回った。増加の内訳では、貸家の増加(前年同月比22.7%増)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(1月)

7億2,806万円(前年同月比39.5%減)と3か月続いて前年を下回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比76.3%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(1月)

55億4,900万円(前年同月比3.9%減)と7か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、市町村の減(前年同月比60.1%減)が大きな割合を占めた。

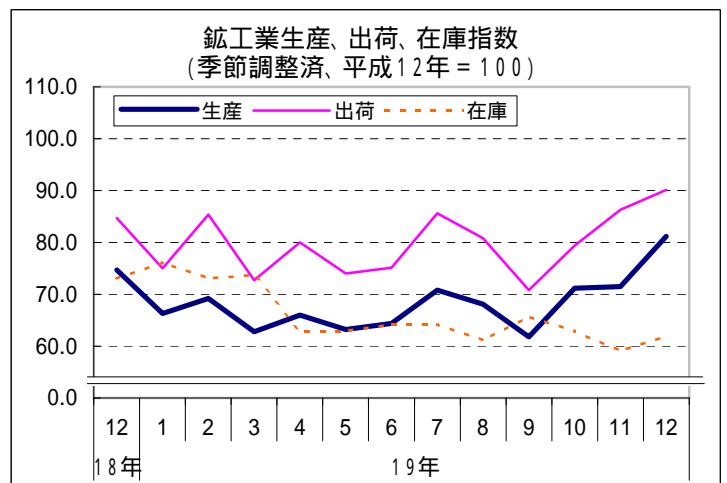
産業面の動き

鉱工業指数(12月)

生産指数(季節調整済)は81.2(前月比13.6%上昇)と3か月続いて上昇し、原指数も83.5(前年同月比7.7%上昇)と12か月ぶりに上昇した。

内訳を前月比でみると、電気機械が民生用電気機械器具等の生産増により6.3%上昇、食料品・たばこが4.4%低下、一般機械が199.4%上昇、繊維が6.2%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は61.9と前月比4.7%上昇した。



大口需要電力実績(12月)

142,444千kwh(前年同月比0.9%増)と4か月続いて前年を上回り、鉱工業は機械等が増加し2.0%増加した。

青果物卸売量(1月、鳥取市場)

野菜が1,225t(前年同月比3.9%減)と2か月ぶりに前年を下回り、果実は695t(前年同月比1.5%増)と3か月続いて前年を上回った。

漁獲量(1月、境港)

5,657t(前年同月比56.1%減)と4か月続いて前年を下回った。

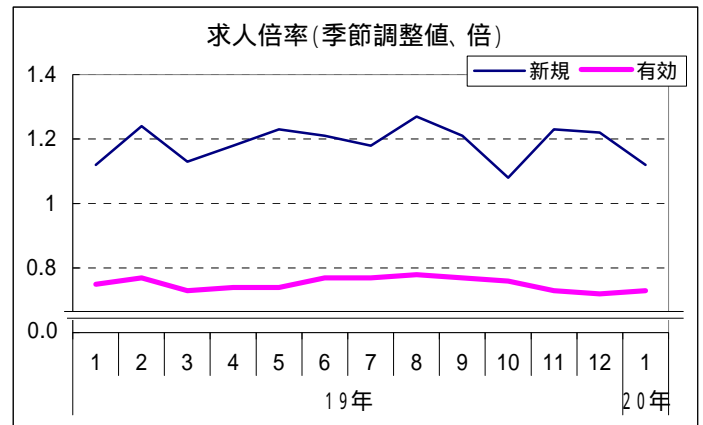
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(1月)

1.12倍(前月差0.10ポイント低下、前年同月と同水準)であった。なお、新規求人数は、4,146人(前年同月比1.6%減)と4か月続いて前年を下回った。

有効求人倍率(1月)

0.73倍(前月差0.01ポイント上昇、前年同月差0.02ポイント低下)と9年11か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(12月)

551,403円(前年同月比3.7%減)と6か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、252,044円(前年同月比1.3%増)で7か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(12月)

9.8時間(前年同月比1.5%減)と7か月ぶりに前年を下回った。主力の製造業は11.8%減となった。産業別の前年同月比では、情報通信業(前年同月比75.9%増)等で前年を上回り、医療、福祉(前年同月比29.7%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(12月末)

預金残高は、1兆8,919億円(前年同月比2.1%増)と16か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,543億円(前年同月比0.4%減)と16か月続いて前年を下回った。

参考

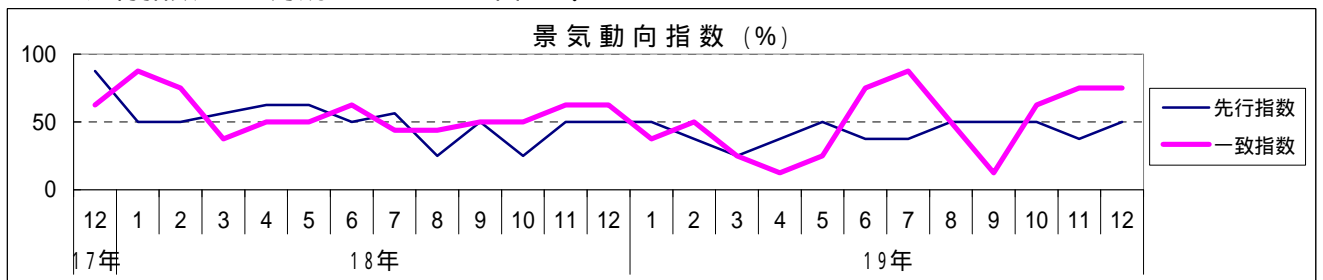
鳥取県景気動向指数(12月)

先行指数50.0%、一致指数75.0%、遅行指数60.0%となった。

先行指数は2か月ぶりに50%となった。

一致指数は3か月続いて50%を上回った。

遅行指数は5か月続いて50%を上回った。



企業倒産(1月)

件数は5件で前年同月と同数、負債総額は9億6,200万円(前年同月比121.1%増)で4か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(1月、鳥取市、総合、平成17年=100)

100.1となり、前月比(0.3%下落)は4か月ぶりに下落し、前年同月比(0.9%上昇)は3か月続いて上昇した。

鳥取県の推計人口(2月1日現在)

598,961人で、前月と比べて413人(0.07%)減少し、前年同月と比べて4,257人(0.71%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成20年2月調査)

平成20年4～6月期は、平成20年1～3月期に比べると景気、経常利益は不調となり、売上高はやや不調となる見通しとなっている。